

令和5年度日本造園学会中部大会 in 福井（案）

■日程

令和5年12月16日（土）～17日（日）

■開催方法

現地開催・リモート併用（予定）

■内容

令和5年12月16日（土）

見学会 13:00～17:00

情報交換会 18:00～（コロナ禍の状況によって開催判断へ）

令和5年12月17日（日）

受付開始 9:00～

研究発表・事例報告 9:30～11:30（福井市地域交流プラザ研修室 601A・B）

ポスター発表 11:30～12:15（福井市地域交流プラザ研修室 601C）

中部支部運営委員会 11:45～12:15（福井市地域交流プラザ研修室 601A）

支部総会 12:15～12:45（福井市地域交流プラザ研修室 601A）

公開シンポジウム 13:30～16:00（福井県県民ホール）

テーマ案 「福井の風景まちづくり」

～トータルランドスケープを支えるまちづくり集団と福井の未来を描く～

話題提供：「福井の風景まちづくり（仮）」福井県政策参与 進士 五十八 氏

事例報告1：〇〇（歴史を軸とした地元団体）

事例報告2：〇〇（自然を軸とした地元団体）

事例報告3：〇〇（町並を軸とした地元団体）

コーディネーター：福井県政策参与 進士 五十八 氏

学生奨励賞表彰式 16:00～16:15（福井県県民ホール）

※見学会参加、研究発表、ポスター発表、公開シンポジウム参加はCPD単位を申請予定。

■参加費 ※公開シンポジウムは参加無料

大会参加費 : 3,000 円（学生 2,000 円）

見学会入館料（実費）：1,000 円

情報交換会 : 6,000 円（学生 3,000 円）

2021 年度事業報告
事業報告の附属明細書

・中部支部

支 部 長 大窪久美子*
副 支部長 相田 明* 風間 一*
運 営 委 員 伊藤 浩二 井上 忠佳* 今西 良共 上田 哲男 上野 裕介 上原 三知
大野 暁彦* 大野 研 岡田 憲久* 小川 総一郎 奥 敬一 梶野 保光
片桐 由希子 加藤 博 加藤 三久 黒田 貴綱 小池 敦夫* 小林 恒雄*
小林 天竜 佐々木 邦博* 佐々木 辰夫* 水津 功 高橋 涼* 築島 明
鏝 隆弘 中嶋 和敏* 中嶋 三千男 長谷川 泰洋* 藤田 若菜
水内 佑輔* 宮脇 勝* 横関 隆登 吉田 勇次* 渡邊 綱男
事 務 局 橋本 啓史* (*は常任運営委員)
開 催 回 数 支部大会1回, 運営委員会1回, 常任運営委員会5回
活 動 報 告 (1)支部活動基本方針

中部地方で活躍する専門家・研究者を中心に、相互に研鑽し自然環境保全・景観整備・都市緑化等についてランドスケープ研究の新たな展開を開始し、社会に向け発言することをめざして活動をおこなった。

(2)2021 年度中部支部大会

開催日時：2021 年 12 月 5 日

開催場所：オンライン (大会サイトならびに Zoom：運用は名古屋産業大学・愛知県尾張旭市)

スケジュール：2～10 日 ポスター発表

5 日 研究発表事例報告・公開シンポジウム

大会参加者：大会参加者数 129 名 (発表 13 件, ポスター発表 8 件)

2021 年度は最優秀賞 1 名, 優秀賞 2 名の学生表彰を後日に行った。

・公開シンポジウム：

「中部から考えるグリーンインフラ―グリーンリカバリーの好機を活かすために―」

以下の基調講演 1 件と 3 件のパネリスト講演をしていただいた。趣旨説明は橋本啓史氏 (名城大学農学部准教授)。シンポジウム参加者は 90 名であった。

基調講演：「グリーンインフラと造園」

木下剛氏 (千葉大学大学院園芸学研究院准教授)

パネリスト講演

① 「国土交通省におけるグリーンインフラ推進の取り組み」

高橋涼氏 (国土交通省中部地方整備局建政部公園調整官)

② 「グリーンインフラ導入の先にあるもの～地域づくりの視点から～」

上野裕介氏 (学石川県立大学准教授)

③ 「田園地域におけるまちづくりのヒントを考える」

上原三知氏 (信州大学准教授)

(3)支部活動：

①今年度は COVID-19 感染状況を鑑み、中部支部では常任運営委員会をオンライン上で実施し

た。

- ②ランドスケープ遺産百選選定委員会も Zoom を使用したビデオ会議で 3 回実施し、来年度に 3 巻目を発行する方向で議論し、委員で分担あるいは協力者に依頼して原稿執筆を進めている。
- ③例年は支部大会開催中に実施している運営委員会は、支部大会当日の 12 月 5 日夕方に Zoom を使用したビデオ会議で実施し、支部総会は事前に総会資料を支部ウェブサイトに掲載し、質問期間を設けた上で、Google フォームを利用したオンライン表決を 12 月 20 日～26 日に実施した。
- ④学生デザインワークショップ「サマースタジオ」は、今年度は 8 月または 3 月に開催を計画していたが、COVID-19 感染拡大防止のため予定していた会場が借りられず、今年度も中止することとした。
- ⑤次年度の支部大会は石川県内での開催予定で検討している。

決算(2021年度)

委員会名	中部支部
担当者氏名	橋本 啓史(支部事務局)
担当者メールアドレス	hihashi@meio-u.ac.jp
作成年月日	2022年5月11日

項目番号 ※1	区分 ※2	費目 ※3	予算額(円)	決算額(円)	差額(円)	備考
	収入	前年度繰越金	1,009,336	1,044,051	34,715	前年度末の資料売上げのため増額
	収入	交付金	300,000	300,000	0	
①	収入	大会参加費	145,000	0	-145,000	参加費無料で開催
①	収入	見学会参加費	100,000	0	-100,000	
③	収入	その他	5,500	0	-5,500	
⑦	収入	デザインワークショップ 参加費	9000	0	-9,000	中止
⑥	収入	出版物売上げ	30000	2000	-28,000	『ランドスケープ遺産百選 中部編Ⅰ』、『ランドスケープ遺産百選 中部編Ⅱ』販売(会員1000円×2冊)
	収入	利子収入	8	16	8	口座解約時利子も含む
		収入計	1,598,844	1,346,067	252,777	
①	支出	支部大会開催費	200,000	13,970	186,030	Zoomプロ・ウェビナー1か月
①	支出	講師料	30,000	0	30,000	
①	支出	学生アルバイト代	64,000	16,000	48,000	支部大会の学生アルバイト 8,000円/人日×2人・日
①	支出	見学会費	150,000	0	150,000	
②	支出	表彰	11,000	11,572	-572	表彰副賞(図書カード):最優秀賞 5,000円×1名、優秀賞 3,000円×2名、賞状用紙
③	支出	印刷費	45,000	0	45,000	支部大会資料(シンポジウム要旨・論文要旨)はPDFのみ
④	支出	通信運搬費	20,000	8,481	11,519	支部事務局通信費、支部HP費用
④	支出	備品購入費	10,000	0	10,000	
④	支出	雑費	20,000	2,552	17,448	残高証明、送金手数料、硬貨手数料、消費税等支払い
⑤	支出	会議費	35,000	0	35,000	
⑤	支出	旅費	41,400	0	41,400	
⑥	支出	支部記念事業費	492,600	281,380	211,220	『ランドスケープ遺産百選 中部編Ⅲ』編集委託223,039円、取材 交通費・画像データ利用料32,980円
⑦	支出	デザインワークショップ 開催費	11620	0	11,620	中止
		支出計	1,130,620	333,955	796,665	
	支出	次年度繰越金	468,224	1,012,112	543,888	

※1 項目番号については、「事業計画」で記入した項目番号と対応させて下さい。
 ※2 区分については「収入」と「支出」とに区分して下さい。
 ※3 費目については、内容がわかるように適宜記載して下さい。それに基づいて、学会事務局にて科目の振り分けを行います。
 ※4 内容および積算基礎・根拠については、その内容がわかるように記載して下さい。

事業計画(案) (2022年度)

委員会名	中部支部
担当者氏名	橋本 啓史(支部事務局)
担当者メールアドレス	hihashi@meijo-u.ac.jp
作成年月日	2022年1月6日

区分 ※1	項目 番号	項目	具体的内容	事業区分との対応※2					新定款第4条各号との対応※3								
				調査 研	出版	講習 研	専門 教	表彰	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
通常 業務	①	支部大会の開催 (12月3-4日, 石川県で 開催予定)	研究発表会・講演会及び見学 会の開催			●			●								
	②	学生奨励賞の表彰の実 施	支部大会における表彰の実施					●							●		
	③	研究・事例報告発表要 旨集の発行	支部大会で配布		●						●						
	④	支部事務局の運営	本部あるいは支部会員との各 種連絡等														●
	⑤	支部常任運営委員会の 開催	年4回、名古屋市において常 任運営委員会を開催														●
	⑥	支部記念事業	『ランドスケープ遺産百選中部 編Ⅲ』を発行		●						●	●				●	●
	⑦	若手を対象としたデザイ ンワークショップの開催	学生の夏休み期間に宿泊を伴 わないデザインワークショップを 1回開催				●		●			●					
新規 業務																	

- ※1 「通常業務」は毎年度定常的に実施している業務。「新規業務」は次年度新たに取り組む業務。
- ※2 事業区分との対応については、該当する欄に●印を付けて下さい。区分については別添ファイル「参考資料_事業区分.pdf」をご参照下さい。
- ※3 定款第4条各号との対応についても、該当する欄に●印を付ける。なお、各号とは以下のとおり。(1)研究発表会、講演会、講習会、見学会および展覧会等の実施、(2)機関誌および図書の発行、(3)調査および研究、(4)学術および技術に係わる専門教育とその評価、(5)関連諸団体との連絡および提携、(6)業績および功労の表彰ならびに奨励および援助、(7)普及、啓発および提言、(8)その他本会の目的を達成するために必要な事業

予算(案)(2022年度)

委員会名	中部支部
担当者氏名	橋本 啓史(支部事務局)
担当者メールアドレス	hihashi@meijo-u.ac.jp
作成年月日	2022年1月20日(木)15時まで

項目番号 ※1	区分 ※2	費目 ※3	予算額(円)	積算基礎・根拠 ※4
	収入	前年度繰越金	-836,218	見込み
	収入	交付金	-300,000	
	収入	利子収入	-10	
①	収入	大会参加費	-145,000	支部大会への参加費。3,000円/人(一般参加費)×35人+2,000円/人(学生参加費)×20人=145,000円
①	収入	見学会参加費	-80,000	一般3000円/人×20人、学生2000円/人×10人
③	収入	その他	-5,500	支部大会資料売上 1,100円×5冊
⑥	収入	出版物売り上げ	-75000	『ランドスケープ遺産百選 中部編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』販売(1500円×50冊)
⑦	収入	デザインワークショップ参加費	-9000	1500円/人×6人
		収入計	-1,450,728	
①	支出	講師料	40,000	支部大会公開シンポジウム講師料10,000円×3名、交通費***円×3名
①	支出	学生アルバイト代	64,000	支部大会の学生アルバイト 8,000円/人日×8人・日=64,000円
①	支出	支部大会開催費	200,000	会場費・消耗品・レンタル品・通信費

①	支出	見学会費	150,000	バス代
②	支出	表彰	11,000	表彰副賞(図書カード):最優秀賞 5,000円×1名、優秀賞 3,000円×2名
③	支出	印刷費	45,000	支部大会資料(シンポジウム要旨・論文要旨)の印刷 500円/冊×80冊、シンポジウムチラシ印刷 5,000円
④	支出	通信運搬費	50,000	支部事務局通信費(含む『ランドスケープ遺産百選中部編Ⅲ』寄贈の際の送料)
④	支出	備品購入費	10,000	支部事務局備品購入費
④	支出	雑費	20,000	消費税等支払い、送金手数料、支部事務局文具等購入費
⑤	支出	会議費	35,000	支部大会時役員会・スタッフ昼食代 1,000円×35人=35,000円
⑤	支出	旅費	99,420	常任運営委員会旅費:南箕輪 7400円×4人・回、駒ヶ根 6400円×4人・回、金沢14740*3人・回
⑥	支出	支部記念事業費	430,000	『ランドスケープ遺産百選 中部編Ⅲ』デザイン費8万円、印刷費35万円(600部)
⑦	支出	デザインワークショップ 開催費	11620	講師交通費4500円、施設利用費4320円、保険料2800円
		支出計	1,166,040	
	支出	次年度繰越金	284,688	

※1 項目番号については、「事業計画」で記入した項目番号と対応させて下さい。

※2 区分については「収入」と「支出」とに区分して下さい。

※3 費目については、内容がわかるように適宜記載して下さい。それに基づいて、学会事務局にて科目の振り分けを行います。

※4 内容および積算基礎・根拠については、その内容がわかるように記載して下さい。

中部地方ランドスケープ遺産選定委員会の活動について

1. 『ランドスケープ遺産百選 中部編Ⅲ ～人が誇れる風景～』の発行
令和4（2022）年6月17日に600部発行された。寄贈冊数は276冊。
造園学会全国大会（6月）、日本造園修景協会（7月）にて販売。

2. 『ランドスケープ遺産百選 中部編Ⅲ ～人が誇れる風景～』の主な経費
取材交通費・画像データ利用料 32,980 円
印刷費 399,960 円
編集委託費 223,039 円
デザイン委託費 71,832 円
（振込手数料や送料など雑費を除く）

3. 今年度の販売実績
ⅠからⅢ、3巻合わせた販売数は198冊、うちⅢが155冊。

2022/11/18

中部支部 2022 学生デザインスタジオ報告

水内佑輔

テーマ：100年前のグリーンインフラのランドスケープデザイン

2022年度中部サマースタジオでは、森林を体験しながら学びつつ、100年前に成立したグリーンインフラの新たな価値を持つ空間をランドスケープの視点から提案する。

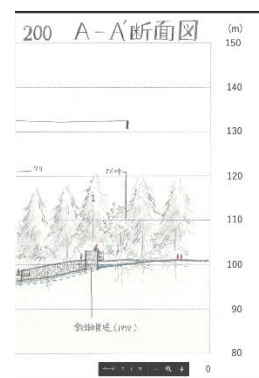
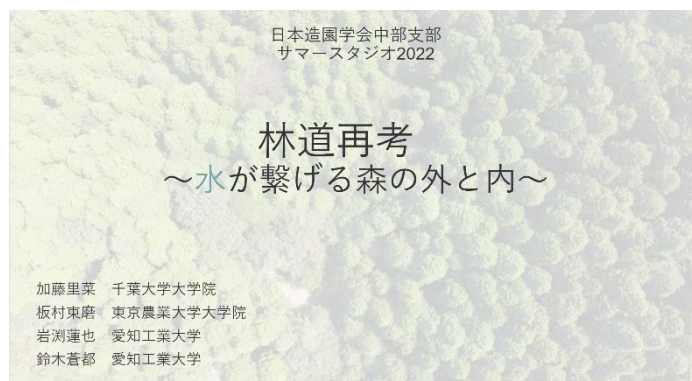
詳細は <https://chubu.jila-zouen.org/topics/670/>

日程 9月13-14日

参加人数4名 愛知工業大学2名、東京農大院1名、千葉大院1名

支出：講師交通費、会議室レンタル費（1万円以下）、学生保険（2000円程度）

成果：



支部大会で報告予定：5分程度

『ランドスケープ研究』支部活動原稿でも報告を希望

別紙 スケジュール

1. 課題：

100 年前に成立したグリーンインフラである犬山研究林の新たな価値をランドスケープの視点から提案し、魅力的な森林風景体験のための具体的な空間像を示す。

- 提案に当たっては、特に森林景観に具体的に言及することに留意する、
- 視点と対象の関係（どこから、どんな森林）
- 林内・林外景観など

2. スケジュール（予定）

9月13日

9:30：名鉄犬山駅集合

10:00：犬山研究林見学

12:00：「市民健康館さらさくら」にて昼食

13:00：自由行動

15:30：魅力的な森林風景体験の可能性についてのプレゼン@「市民健康館さらさくら」
森と地形のタイポロジーを意識し、写真や地図を使ってPPTでプレゼン。

5分程度

※ここまでは個別で活動・以降はグループワーク

16:30：赤津宿泊施設へ移動

17:30：赤津宿泊施設へ到着

薪割・調理・食事・懇親（2日目何を見れば良いのかサジェスチョン）

9月14日

8:30：犬山研究林へ移動

9:30：犬山研究林へ到着

12:00：「市民健康館さらさくら」にて昼食

16:00：最終プレゼン

PPTを使って10分程度

17:00：終了

名鉄犬山駅へ移動